

# リモコンで操作できないときは

リモコン表示部に電池切れ予告マークが点灯している場合は、リモコンの乾電池を交換してください。

## 乾電池を交換する

**1** ウォシュレット本体操作部の  を押す

「運転」ランプが消灯します。

**2** リモコンをリモコンハンガーからはずす

**3** リモコン裏面の電池カバーを開け、単 3 形乾電池を交換する

 乾電池の入れかた、乾電池について→ 14 ページ

**4** 電池カバーを閉める

**5** ウォシュレット本体操作部の  を押す

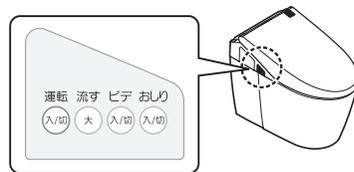
「運転」ランプが点灯します。  
節電中は各節電状態のランプが点灯します。

 **アドバイス** 電池交換を行うと、タイマー節電や、オート便器洗浄などの設定がはじめの設定に戻る場合があります。その場合はもう一度設定をやり直してください。



## ウォシュレット本体で操作する (リモコンの電池が切れたときなど)

ウォシュレット本体操作部のスイッチで操作してください。



# 冬場の凍結を防ぐには



お願い

◎凍結が予想されるときは、節電しないでください

凍結により製品が破損することがあります。

 節電をやめるとき→ 31,33 ページ

◎周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

◎製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。

※便器の種類によって、凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

 凍結予防のしかた→ 57～59 ページ

◎凍結予防の作業前には、 、、 を「切」にしてください。

ふた開閉 プレ洗浄 流す

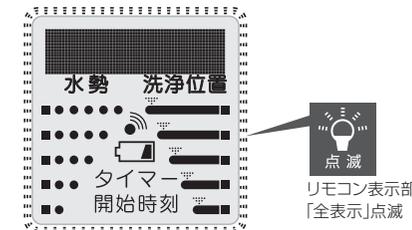
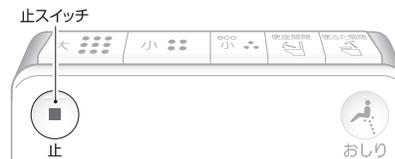
# 凍結予防をする / やめる (流動方式)

便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流して凍結を予防する方法です。

※設定するときは「リモコンの電子音を鳴らす / 鳴らさない」を「鳴らす」に設定して電子音で設定内容を確認してください。

**1**  をリモコン表示部全体が点滅するまで押す

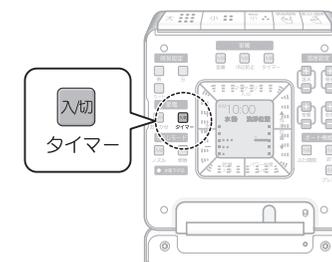
約 10 秒で点滅します。



**2** リモコンカバーを開けて

  を押す

- 凍結予防をするとき  
ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音が鳴ります。
- 凍結予防をやめるとき  
ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると、「ピーッ」という電子音が鳴ります。



**3** リモコンカバーを開けて

 を押す

凍結予防をしているとき

- ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプ (緑色) が点滅します。
- ノズルが収納したままでもノズル付近から約 50ml の温水が 5 分間隔で出ます。
- 便器の水が約 10 分間隔で流れます。

凍結予防をしていないとき

- ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。



## 凍結予防を確実にを行うには…

- リモコンの温水温度を 40℃、便座温度を「高」に設定してください。
- 便ふたを必ず閉めてください。

# 凍結予防のしかた (ヒーター付便器・水抜併用方式)

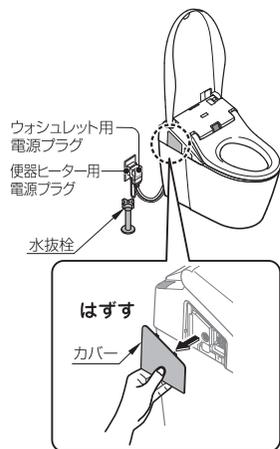
## 水抜きのみしかた

### 1 水抜栓を操作して、給水を止める

※止水栓は開けたままにしておいてください。

〈配管の水を抜く〉

リモコンカバーを開けて



### 2

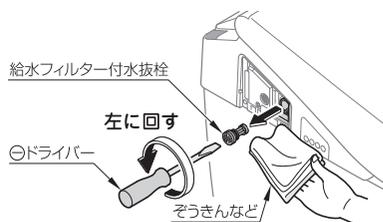
① **入切** を押し、ノズルを伸出させる  
ノズル (給水管内の圧抜きです。)

② カバーをはずす

③ 給水フィルター付水抜栓を ⊖ ドライバーでゆるめた後、引っ張ってはまず

#### 注意

水抜栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない  
禁止  
• 水が噴き出します。

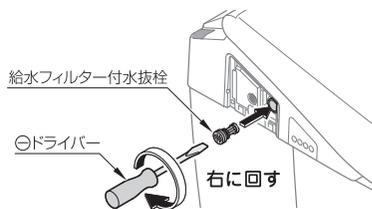


④ 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める

※ノズルが戻っている場合は、給水フィルター付水抜栓を押し込む前にもう一度 **入切** を押し、ノズルを伸出させてください。

#### 注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める  
• 確実に締めないとき水漏れの原因になります。  
必ず守る



⑤ カバーを取り付ける

⑥ **入切** を押し、ノズルを戻す  
ノズル



便座を閉めている時や、ノズルの掃除後に便座を閉めると、ノズルが戻った後、残水を抜くためにもう一度ノズルが出てきます。約 30 秒後にノズルは戻ります。

3 すっきりパネル (右) の後ろ側を手で持ち、手前に引いて取りはずす

4 タンクの水を抜く

- すっきりパネル (右) 裏側のラベル「タンク内水抜き作業手順」をご覧ください。
- 付属の水受けトレイを置く

• リモコンの **大** を押す

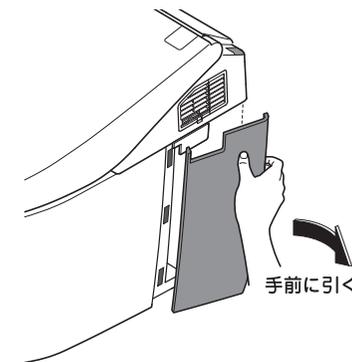
- 便器側面の水抜きつまみを回してタンク内の水を抜く (水抜き後は、つまみを確実に締めてください。)

〈ウォシュレット内を保温する〉  
5 ウォシュレット本体操作部の **入切** が「入」であることを確認し、リモコンの便座温度設定を「高」にする

※凍結予防作業後には、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。



ヒーター付便器は室温が 5℃ 以下になると自動でヒーターが入ります。



## 水抜き後に再通水するとき

1 水抜栓を操作して、給水する

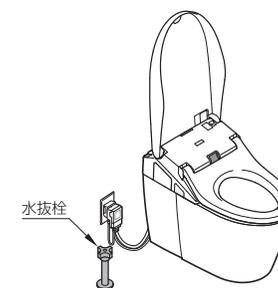
※配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認してください。

2 ノズルから吐水させる

着座センサーを白紙でおおい、リモコンの **おしり** を押してノズルから 2 分間吐水させます。(吐水は紙コップなどで受けてください。)



残水が凍結し水が出ないときは、トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースおよび止水栓を温めてください。



3 **大** を押して水を流す

※便器に内蔵しているタンクに水が溜まっていなくて便器洗浄できません。

- 一度「リモコン便器洗浄スイッチ」を押すとタンクに水が溜まるまで約 30 秒かかります。その間はすべてのスイッチを押さないでください。

▶ タンク給水の目安 → 21 ページ

4 便器の水面に水が溜まってから、もう一度 **大** を押す

# トイレを長期間使わないとき



- お願い
- ◎ウォシュレット本体内の水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。また、製品が破損するおそれがありますので水抜きを行ってください。
  - ◎冬季に帰省されるときや別荘などで使用するとき、凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。
  - ◎水抜きの際は、ウォシュレット本体が上がっていないこと、お掃除リフト用レバーがもとの位置に収納されていることを確認してください。

## 水抜きをする

### 1 止水栓を閉める（流動方式の場合）または、水抜き栓を操作して、給水を止める（ヒーター付便器・水抜併用方式の場合）

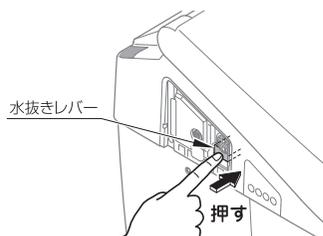
※ヒーター付便器・水抜併用方式の場合は、止水栓を開けたままにしておいてください。

### 2 配管の水を抜く ▶ 58 ページ

※水を抜いた後、カバーははずした状態にしておいてください。

### 3 ① 水抜きレバーを押し続ける

- ウォシュレット本体下側から水（40ml 程度）が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約 10 秒かかります。



### ② 手を離し、水抜きレバーをもとに戻す



### ③ カバーを取り付ける



### 4 タンクの水を抜く

（ヒーター付便器・水抜併用方式の場合）

▶ 59 ページ 手順 4 タンクの水を抜く 参照

### 5 電源プラグを抜く

### 6 便器の溜水を処置する



便器に残る溜水には、不凍液を入れておくことより安心できます。

## 水抜き後に再通水する

### 1 止水栓を開ける、または水抜き栓を操作して給水する

※配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

### 2 電源プラグをコンセントに差し込む

### 3 ノズルから吐水させる

着座センサーを白紙でおおい、リモコンの  を押してノズルから 2 分間吐水させます。（吐水は紙コップなどで受けてください。）

### 4 を押して水を流す

※便器に内蔵しているタンクに水が溜まっていないと便器洗浄できません。

- 一度「リモコン便器洗浄スイッチ」を押すとタンクに水が溜まるまで約 30 秒かかります。その間はすべてのスイッチを押さないでください。

▶ タンク給水の目安→21 ページ

### 5 便器の水面に水が溜まってから、もう一度 を押す